

ラフテレーンクレーン用タイヤの適正使用と日常点検についてのお願い

サービスニュースでは、「ラフテレーンオールテレーン用クレーンタイヤの日常点検について (No.0032)」と題し、当該タイヤの日常点検の大切さをご理解いただくために、当該クレーンをご使用されますお客様に向けたタイヤメーカ（ブリヂストンタイヤジャパン株式会社）より2008年に発行されましたパンフレット「ラフテレーンクレーン用タイヤ日常点検徹底のお願い」を掲載しています。

今回、同タイヤメーカより再度お客様に向け、当該タイヤの適正使用と日常点検の重要性をご理解いただく為に、2014年度版としてパンフレットが発行されましたのでご紹介いたします。

タイヤは適正な空気圧、適正な荷重でご使用いただき、日常の点検を欠かさないことが大切です。安全な車両運行の為お役立て下さい。

BRIDGESTONE

ラフテレーンクレーン用タイヤ 適正使用と日常点検 のお願い



ラフテレーンクレーン用タイヤでは、一部のお客様にて、

- ①低空気圧、過荷重使用
 - ②低空気圧、過荷重状態での長期使用
- を要因とするタイヤ損傷が発生しています。

特にタイヤ管理やタイヤ点検が不十分な状態で長期にわたり使用されたタイヤは、損傷に至る可能性が有りますので、交換をお奨めします。

尚、タイヤの点検については、道路運送車両法に定められていますが、本資料では、日常点検の方法・点検のポイントをまとめました。お客様におかれましては、内容をご確認頂き、日常のタイヤ点検を励行いただきますようお願い申し上げます。

適正使用とは

適正な空気圧、適正な荷重で使用された状態です。

■空気圧不足による負荷能力の低下

▼385/95R25の場合(速度50km/hに補正)



空気圧が低下すると、タイヤの負荷能力(支えることができる荷重)が低下します。車両に積載物を追加しなくても、空気圧が低下すると、タイヤにとっては「過荷重」状態になります。

ラフテレーンクレーン用タイヤの 損傷について

過度のタイヤの歪

タイヤを

- ・ 指定空気圧以下の低空気圧
- ・ 規定荷重を超えた過荷重

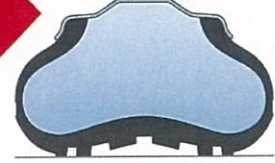
で使用するとタイヤの歪が増加し、
損傷の原因となります。

さらに、低空気圧や過荷重状態で長期間使用
すると、ゴムの特性変化や、疲労の蓄積により、
タイヤは損傷しやすくなります。

適正空気圧
適正荷重



低空気圧
過荷重



**損傷
発生**

膨れなどの変形や吹き抜けが発生します。

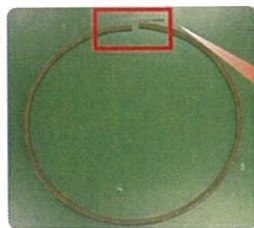


**低空気圧や過荷重な状態で長期にわたり
使用されたタイヤは交換を推奨します。**

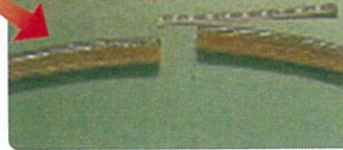
ホイールにも注意が必要

変形したロックリングは交換してください。

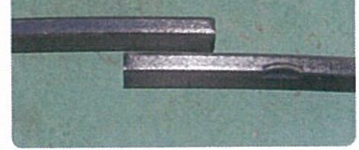
タイヤのパンク(又は吹き
抜け)などにより空気が抜
けた場合に、変形したロッ
クリングが外れる事例が報
告されています。変形したロ
ックリングは必ず交換して
ください。



変形したロックリングの
合い口部



新品ロックリングの
合い口部



低空気圧、過荷重使用の兆候

次のような膨れなどの変形のあるタイヤは吹き抜ける可能性があります。即時交換をお願いします。

※これらのタイヤを発見した場合は、すぐにタイヤ販売店にご相談ください。

この兆候を見逃さないでください!!



▼ 下記の条件に合致する場合、溝が残っていても交換時期ですので、早めの交換をお願いします。

ショルダー部が肩落ち摩耗し、色合いの違うベースゴムが露出しているタイヤ

- ・周上一箇所でも残り溝が3~4mm以下になったタイヤ
- ・コードに達した外傷、ゴム割れのあるタイヤ
- ・極端に偏摩耗したタイヤ及び、コード層が露出したタイヤ



タイヤ点検の方法

アウトリガーでタイヤを浮かせ、表・裏両面の点検をお願いいたします。
ハンドルを切った状態にするとタイヤ裏面の点検がし易くなります。

タイヤ点検時の注意点

タイヤ点検時には必ずエンジンを停止させ、
「キイを抜いて点検者が保管」してください。



日常点検のポイント

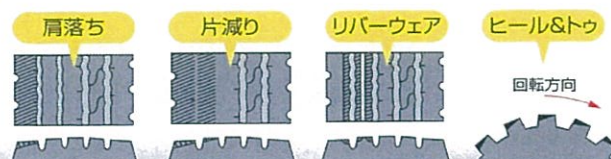
異物・石噛み・傷

トレッド部やサイド部への外傷でコードに到達するものは大変危険です。(溝への石や異物の噛み込はとり除いてください)これらの異常を発見した場合にはすぐにタイヤ販売店にご相談ください。



極端な偏摩耗

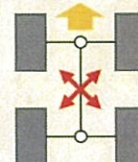
以下のような極端な偏摩耗は、操縦安定性不良や振動の原因になるばかりでなく、スチールコードの露出により、吹き抜けなどの故障につながる危険があります。偏摩耗の発生を防止するため、定期的なローテーションを実施してください。



効果的なローテーション方法

- ・タイヤ同士をクロスに交換します。下図のように回転方向を逆にし、前後輪を入れ換えます。
- ・目安として5,000km走行ごとに実施します。

※ローテーションは異常摩耗が出る前に実施すると効果的です。



溝深さ

新品時の溝深さの15%が使用限度*。

(残り溝約3~4mmが使用限度の目安)

安全確保のために、上記を目安に早めの交換をお願いします。

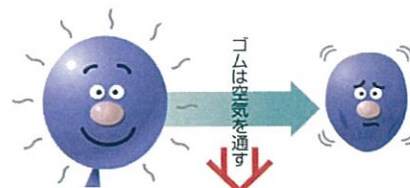
* (社)日本建設機械化協会「建設車両用タイヤの選定・使用・整備基準」に基づく



空気圧

タイヤが冷えた状態で、正確なゲージを使用して空気圧を測定。下表の適正空気圧以上に合わせて調整してください。

サイズ	適正空気圧	管理空気圧
325/95R24	900kPa	900~980kPa
385/95R25		
445/95R25		
505/95R25	800kPa	800~880kPa



タイヤの空気圧を適正に保つには定期的点検・補充が必要